

淡路島のカミキリムシ追加 (IV)

堀 田 久

1. クワサビカミキリ *Mesosella simiola* Bates

筆者が、1976年5月25日、洲本市安乎町の自宅で薪上にいたものを1頭採集した。

2. セミスジコブヒゲカミキリ *Rhodopina lewisii* (Bates)

柳学園高校の奈良隆史君が、1975年8月1日、洲本市鮎屋において1頭採集した。標本は奈良君の好意により筆者が所蔵している。

3. シラオビゴマフケシカミキリ *Exocentrus guttulatus* Bates

柳学園高校の広地昇君が、1975年6月11日、洲本市下加茂で2頭採集した。夜間採集中灯火に飛来したとのことである。広地君の好意により標本の1頭は筆者が所蔵している。1頭は柳学園高校の生物教室に保管されている。

なお、これで淡路島産のカミキリムシは63種を数えることになった。

コツバメ 三熊山に産す

淡路島ではコツバメ *Ahlbergia ferrea* Butler は、山崎俊道氏が1965～66年当時に津名郡五色町下塚と同町広石で採集された記憶があるだけで(山崎氏談)標本は現存しない。

筆者は、山崎氏からこの話を聞く以前から本種が本島に分布する可能性を主張していたのであるが1975年4月19日午後、柳高校の生物部員と共に三熊山山頂付近で調査を行った際、地面に静止している本種を発見したが採集できなかった。また、当日、飛翔中のものも一頭目撃した。

このことから、本種は、個体数が少ないのと春先に出現するので、現在まで見逃されてきたものと考えられる。

その後現在まで再調査の機会に恵まれないが、今後各地から新しいデータが追加されることを期待したい。

(登 日 邦 明)